

令和7年度 第4回 大府市文化財保護審議会会議録

日時：令和8年3月14日（土）
午後2時～午後2時50分
場所：歴史民俗資料館 会議室1

[出席者]（委員）伊藤啓信、西尾一、館内三郎、花井しおり、小早川道子、池田ちか、
小野幸恵

（事務局）中村部長、細谷課長、白濱館長、鷹羽、塚野、玉神、内藤

[欠席者] 見田隆鑑、中井良岳、武部真木

[傍聴者] 0名

1. 開会

2. 会長あいさつ

実施中の石造物調査について、写真撮影が明日から始まるが、ご協力を。
今回は、文化財指定が議題に上がっているが、皆様のご意見を伺いたい。

3. 議題

(1) 令和7年度事業実績報告

歴史民俗資料館事業実績 (資料1)

文化財保護事業実績 (資料2)

大府市文化財保護審議会活動報告 (資料3)

事務局より資料を一括説明

質疑等なし

石造物調査について (資料4)

委員) 所在不明石造物の調査の過程でいくつか判明したことがある。追分の墓地から北崎に移された観音にまつわる伝承や尊像名の由来が分かった。また、鞍流瀬川周辺のいくつかの石仏にまつわる伝承から、河川氾濫に伴う沈下や土砂の堆積といった土地の歴史が見えてきた。さらに、吉田町に残る金毘羅石灯籠は、調査を契機に廃棄予定の情報が資料館にもたらされ、吉川熊野神社に移設され廃棄から免れた。石造物調査を契機に歴史が掘り起こされ、保存されるといった効果があった。なお、今後、戦前からあった4小学校に残る石造物も調査対象とする予定である。

委員) 小学校ではどのようなものを調査することになるのか。

委員) 戦時中の金属供出で失われた二宮金次郎が戦後になって石で新造されたようであり、調査対象年代からは外れるが、番外のような形で記録したい。ほかに、日清戦争などに関連する石碑などが存在するようである。

委員) 二宮金次郎像については研究事例があり、参考にするとよい。

委員) 石造物調査報告書のデジタル化の計画はあるか。

委員) どのような形の報告書にするかは未定。知多地方の研究発表テーマとする予定。
委員) デジタル公開を見据えた調査編集をしていくとよい。

(2) 令和8年度事業計画

歴史民俗資料館事業計画	(資料5)
文化財保護事業計画	(資料6)
大府市文化財保護審議会活動予定	(資料7)
知多地方文化財保護委員会について	(資料8)

事務局より資料を一括説明
質疑等なし

(3) 文化財指定について

大府市指定文化財候補について	(資料9)
----------------	-------

■三山道中記

事務局) 作者・平七の子孫から市へ寄贈された資料。本資料は江戸時代後期に尾張地域を中心に多くの記録が多く残る「三禅定」の旅を記したもの。文政6(1823)年、大苅村の村人13人による三禅定の51日間の旅を平七が記録したもので、江戸・日光・鎌倉などを訪れる観光的要素も含んでいる点が特徴。また、巡拝記念に建立された石碑(桃山公園に現存)もあわせて附指定としたい。

委員) この資料を初めて目にしたのは、先の大府市誌編さんが始まってしばらくの頃のこと。筆まめだった平七のお陰で事細かに記述されており、三山道中記のなかでは珍しいのではないか。

会長) 大府市指定文化財として指定してよいか。

全委員賛成

■普門寺阿弥陀如来坐像

事務局) 元薬師寺の尊像で、寺の無住化に伴い普門寺に遷座。表面の補修や後世の修理が行われているが、当初部は平安時代後期の像とみられる。後補の漆箔などを取り除き文化財としての修理を行うことで、当初の像容に近い姿で、後世に伝えることができる可能性がある。

委員) 壊れているところはないか。像の中に何か入っている可能性は。

事務局) 多少の干割れがあるようである。将来の修理の過程で納入品や墨書など、新たに判明することが出てくるかもしれない。

委員) 旧薬師寺は大日堂と呼ばれ、現在地とは別の場所(山ノ井)にあった。そこにあった像と思われる。昭和17年に大日堂から薬師寺になっている。大日堂の創建は弘化4年1847年となっているが、この像はそれよりも古いもの。

会長) 大府市指定文化財として指定してよいか。

全委員賛成

(4) 大府市史の編さんについて

事務局より進捗および今後の予定を説明

4. その他

事務局)配布物、報酬支払予定、次回会議日程のお知らせ